

令和3年度 第2期第4・5回美瑛町共有ビジョンまちづくりワークショップ 議事録

日時：令和4年2月23日（水）

午後2時から午後6時まで

場所：地域人材育成研修交流センター

参加者

- ・町民9名 職員9名 計18名
- ・(有)イーズ 枝廣氏 他1名
- ・まちづくり推進課職員3名

1 開 会

2 町長あいさつ

3 ワークショップ

(1) 一言チェックイン

- ・ワークショップに対する意気込みを一人ひと言ずつ発表する。

(2) グループワーク（枝廣講師より）

- ・第3回で実施したビジョン5の打ち手案のボリュームが少ないため、再度各グループで検討する。
- ・前回と同様に以下のステップに沿って、ビジョン6・7についてのワークショップを実施する。
- ・ビジョンの要素のつながり（因果関係）を意識し、別紙資料の要素一覧（追加や結合しても可）を基に要素ごとのつながりを書き出し、好循環ループ図を作成する。
- ・ループ図の中で、結果的に生み出される効果（人口やブランド力等）ではなく、多くの結果を生み出すための取り組みに印をつける。
- ・まちづくりではレバレッジ（てこの原理）をいかし、小さい力で大きく動かすことが重要であり、ループ図の中で多くの矢印が集まっている要素（取り組み）がレバレッジポイントとなる。
- ・まちづくりでは、「つながり」を作り直すことが重要であり、物理的つながり・人と人とのつながり・情報のつながりなどを考えていくことが必要である。

ビジョン5：豊かな自然と共生し、持続可能な循環型社会を目指すまち

- ・十勝岳連峰の裾野に広がる豊かな環境を守りながら、エネルギーを自給し、資源と経済を循環できるまち

ビジョン6：子どもの個性を育み、全力で応援するまち

- ・地域全体で子どもの成長を見守り、多様な個性に応じたサポートができるまち

ビジョン7：すべての人に居場所と役割があり、希望を持って笑顔で暮らせるまち

- ・人と人がつながりあい、多様性を尊重し、すべての人々に居場所や活躍の場があり、自分らしくいられるまち

目的：①進捗を測る指標づくり ②具体的な取り組みの案づくり

ステップ1：ビジョンが実現しているようすの具体的な描写をいくつも考える。

20年後の美瑛町を見据えて、想像力を働かせながら、町外者や子供など様々な立場・角度から考える。

ステップ2：ビジョンが実現した際に、増えているもの、減っているものを考え、指標（ものさし）案をつくる（ポストイットに矢印を記入する）。

ステップ3：その実現につながるプロジェクトや取り組みのアイデアを幅広く出す（ポストイットに星印を記入する）。

(3) 一言チェックアウト

・本日のワークショップを振り返り、一人一言感想を発表する。

4 その他

・次回は役場にて2月28日（月）に開催予定。

5 閉会